

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより
令和7年3月1日発行



写真:シロガネヨシと金星(倉吉市 倉吉体育文化会館)

3月の主な行事予定

3月18日(火) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議

(倉吉体育文化会館)

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



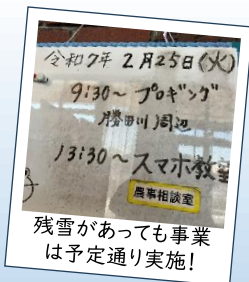
成美地区公民館 (琴浦町)



船上小学校と船上こども園の間にある、成美地区公民館に行ってきました。

この日は成美プロギングの日。プロギングはスウェーデン発祥の、ジョギングしながらゴミを拾うSDGsなスポーツで、「美しく成る」という成美の名前そのものの取組です。今回は参加できませんでした。来年度参加しようと思います。

成美地区公民館は現在新築工事中で、令和7年度に移転の予定。移転は寂しくもありますが、楽しみでもあります。こども園併設になることで、新しい形で居心地の良い場所になることを楽しみにしています。



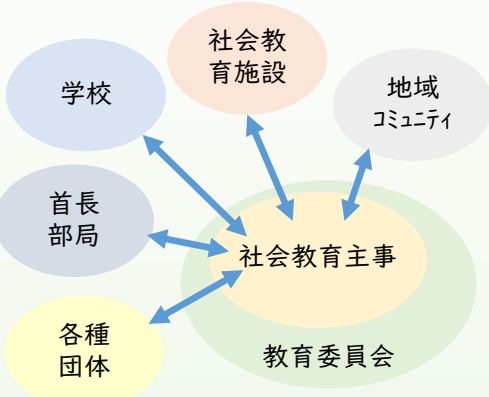
秘密基地の冷蔵庫?!

玄関ホールの柱の、子どもたちのアート作品、段ボールで作った秘密基地の冷蔵庫など、子どもたちにとって、とても居心地の良い場所となっていることが伺えます。特に柱のアートに参加した子どもたちには、特別な思い出の場所です!

子どもたちが地域を大切に思う気持ちにつながりますね。



玄関ホールの柱は子どもたちの絵がたくさん描かれた素敵なアート!



社会教育主事は、都道府県および市町村の教育委員会に置かれる専門的職員で、社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。

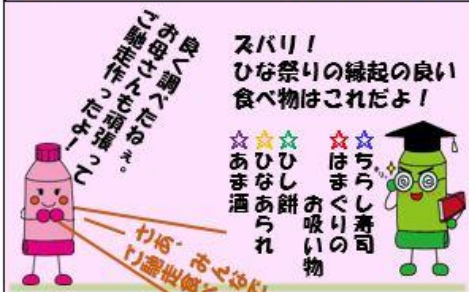
社会教育主事は、地域の社会教育事業の企画・実施及び専門的な助言と指導を通じ、地域住民の学習活動の支援を行います。

そのほか、地域の学習課題やニーズの把握・分析、地域の社会教育計画の立案やそれに基づいた学習プログラムの立案、地域人材の育成、地域人材の把握、学校教育と社会教育の連携の推進、相談などを担います。



社会教育主事とは、
 ・教育委員会の専門的教育職員
 ・社会教育を行う者に対する専門的な助言・指導を担う

ちゅうぶくん
 ~楽しいひな祭りが!...~



社会教育主事講習 2月12日~20日 倉吉体育文化会館

1月14日にスタートした社会教育主事講習。20日間にわたるオンライン講習を経て、2月12日、鳥取会場の受講者が集いました。受講者は行政関係者だけではなく、公民館、学校、企業、NPO、議員など、所属は様々。社会教育士の称号取得を目的に受講されている方もおられました。

2月12日~13日の生涯学習支援論では、参加型学習でのファシリテーションについて、2月14日~20日の社会教育演習では、事業計画立案について学びました。

参加型学習でのファシリテーションでは、30分間のプログラムを計画し、実演することがゴールで、公民館や行政の事業だけでなく、学級活動など学校の先生の授業づくりにも役立つような内容でした。参加者が主体的に活動できるように、事前しっかりと準備をすることの大切さを感じられるものとなりました。

事業計画立案では、通常なら数ヶ月から1年以上かけて行うことを、4日間で立案し、5日目に発表することがゴールでした。自分たちの設定した自治体の課題を洗い出し、目標に照らし合わせた計画を立案しました。どの班も夢のある事業計画をまとめ上げ、発表することができました。

受講者の皆さんが、これから社会教育主事として、または社会教育士として、それぞれの場で活躍されることを願っています。



【あしがき】 「マグロの心臓と肝臓!」

休日は朝9時からJA直売店で野菜を買い、次に鮮魚の直売店で魚を買い、帰宅後に調理するのが、私のルーティーン。

ある土曜日、価格高騰に驚きながら野菜を買い終え、いつも通り魚屋へ。見慣れない赤黒い塊を見つけ、よく見ると「マグロの心臓・肝臓200円!」?。マグロの心臓・肝臓を見るのは初めてで、安さにも驚き!「どうやって食べるんですか?」と、店員さんに聞くと「煮付けです」と即答。帰宅後、すぐにスマホでレシピを調べて、血抜きをし、ショウガ多めで煮付けを作りました。家族からは好評でしたが、魚臭さが少しキツめの個性的な味。心臓よりも肝臓の方が食べやすかったです。

鳥取県の新たな魅力を発見!おススメです。(写真がないのが残念)

